

週日の説教

金 大烈 神父 2011年5月25日(水)

《あなたにつながっていなければ枯れてしまう》

「イエス様はぶどうの木で私達はその枝。」私達はそれぞれに信仰の生活をするには、色々な動機があるはず。ある方は自己実現、「自分をもっと成熟な完成体に近づけるために信仰の生活をしています。」と言う人もいるし、「私は自分の信念を成し遂げようとしてこの信仰を持っています。」という人もいます。しかし、それは全く錯覚であることを今日の福音(ヨハネ 15・1-8)は伝えています。

ぶどうの大きい木がイエス様。そして私達はそれに付いている枝。枝は実際、自らは何も出来ないことです。枝の出来ることは留まることしかできません。ですから実際に信念を成し遂げることとか、自分を実現することとか、それらは私達がイエス様に留まっているかどうかによってついて来る結果です。自分の力によって自己実現をするためにこの信仰を持ちます、と言う人も間違いです。そして、何かの信念を成し遂げるために力をもらおうとするその心も、ある意味では傲慢かも知れません。何よりも一番大事なことはイエス様というぶどうの木に私達が留まることです。つながっていることです。それが基本、それが根本的な私達の姿勢ではないかと思えます。こういう話を聞いて私達の共同体には、偉い者もちょっと足りない者も分け隔てる心も許されていないということ意識するべきです。

もし、今日の警告のように留まる事が出来なかったらどうなりますか。『外に投げ捨てられて枯れる。』と言っています。ということは、信者という名を持っていても私達の根本的な心が、イエス様が中心になっていなければその人は救いから離れることでしょう。私達の信仰者としての具体的なその目的、その意味は、全て神様のためであることを意識しなければいけません。「私は神様のために働いています。」と言いながらも自分のために動いている人が結構見えます。そのような錯覚に陥っているのかも知れませんね。それは私達の弱さだと思います。私自身も「福音のために神様のためにどうにか頑張ってきました。」と言いながらも振り返ってみたら自分の事ばかり考えて、今までやって来たのではないかと反省する時があります。

今日の福音を通して何よりも私達がもう一度考えなければならないことは、私達がするあらゆる奉仕とか優しい心とか全てのことは神様のために、そしてその実りは神様が下さるという信仰です。“あなたにつながっていなければ私は枯れてしまう。”この位、強い心が必要ではないかと思えます。今日の福音は優しく説明されていますが、結構根本的な、そして厳しい真理について話されている内容だと思います。皆様、私達は枝です。ぶどうの大きい木であるイエス様に全てを委ねなければ、自分の力では何も出来ないことを意識するその恵を与えられるように願いましょう。

ありがとうございます。